

円城浄水場の水を飲用した地域住民等の健康への影響と対策について

このことについて、健康影響対策委員会において検討をお願いしたい事項は次のとおりです。

1 健康に与える影響

(1) PFOS・PFOAに関する知見

ア 現在の取組

- ・国のPFOS、PFOAに関するQ&A集（2023年7月時点。環境省、PFASに対する総合戦略検討専門家会議）等を参考に対応

イ 検討いただきたい事項

- ・PFOS・PFOAに関し、何が分かっている、何が分かっていないか、町としてどのように整理すれば良いか
- ・分かっていないことについて、いつ結論が出るのか、国における検討状況をどのように整理すれば良いか

2 健康状況の把握

(1) 健康指標に関する既存資料の分析

ア 現在の取組

- ・岡山大学大学院に特定健康診査等のデータ分析を依頼し、中間報告書を受領のうえ、説明会を開催予定（11月22日）

イ 検討いただきたい事項

- ・現在の中間報告に加えて、分析すべき事項（分析項目、分析期間、対象者等）は何か

3 対策

(1) 相談体制の整備・健康に関する情報発信

ア 現在の取組

- ・保健課に健康相談窓口を設置し、相談対応を実施（10月24日～）
相談件数 延べ23件（11月14日現在）
- ・環境省QAや専門家の意見を踏まえQAを作成し、町HPに掲載（掲載内容は別紙のとおり）

イ 検討いただきたい事項

- ・有機フッ素化合物の健康に与える影響には不明な点が多く、町民の過度な不安を解消するために何をすれば良いか
- ・住民に情報を正確に伝えるための手段は何か適切か（住民説明会、回覧板、ホームページ、ケーブルテレビ等）

(2) 健康診査等

ア 現在の取組

- ・特定健康診査等により、関連する項目（LDLコレステロール値等）について観察

イ 検討いただきたい事項

- ・今年度、臨時の健康診査（又は健康に関する調査）を実施すべきか
- ・健康診査の頻度はどの程度が適切か、診査項目として何の項目を増やすべきか
- ・健康診査の対象をどう設定すべきか
- ・開始時期はいつからが適切か、何年間実施すべきか
- ・毎年実施する特定健康診査等について診査項目を増やすべきか
- ・PFOS・PFOAに関する血液検査をどのように考えるか

(3) 妊産婦や子どもに関する対策

ア 現在の取組

- ・適宜、相談対応を実施

イ 検討いただきたい事項

- ・妊産婦や子どもに関する対策として、上記（1）～（3）以外に、特別に実施すべき取組があるか

(参考)

○PFASに関する今後の対応の方向性（抜粋）（令和5年7月。PFASに対する総合戦略検討専門家会議）

1. PFOS、PFOAへの対応について

(2) 暫定目標値等を超えてPFOS、PFOAが検出されている地域等における対応

○自治体による健康状態の把握

- ・PFOS等による健康影響への不安の声が上がっている地域においては、地域保健を担当する各自治体が、地域保健活動の一環として、健康指標に関する既存統計を用いるなどして当該地域の健康状態を把握し、地域住民に向けた情報発信をすることが望ましい。

○PFOS、PFOAに関するQ&A集（抜粋）（2023年7月時点。環境省、PFASに対する総合戦略検討専門家会議）

Q6：健康影響に関する血中濃度の基準はないのですか。PFOS、PFOAの血液検査を受ければ健康影響を把握できますか。

⇒ 現時点での知見では、どの程度の血中濃度でどのような健康影響が個人に生じるかについては明らかになっていません。このため、血中濃度に関する基準を定めることも、血液検査の結果のみをもって健康影響を把握することも困難なのが現状です。